

嬉野市脱炭素セミナー

2026年3月17日（火）



講師紹介



山口 真知 (Yamaguchi Masatomo)

SAGA COLLECTIVE協同組合 事務局長

グッドデザイン賞2024 受賞、第25回グリーン購入大賞 大賞・環境大臣賞
脱炭素チャレンジカップ2025 環境大臣賞

中小企業診断士

環境省認定制度 脱炭素アドバイザーアドバンスト

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所 リサーチャー
駒澤大学経済学部現代応用経済学科ラボラトリ 外部研究員
佐賀女子短期大学 アドバイザー

ジェトロ入構後の2017年に佐賀へ赴任し、県産品の輸出拡大に従事。後のSAGA COLLECTIVEメンバーと出会う。インドへ転勤後、新型コロナの感染拡大に伴う緊急帰国のタイミングで独立と移住を決断。SAGA COLLECTIVEの法人化を知り、自ら事務局長を志願。中小企業診断士の資格を持ち、補助事業等により活動予算を自ら確保しながら、運営に伴う実務・管理全般を担当。

脱炭素経営の4つのステップ

1

知る

脱炭素に取り組む
理由を語る

2

測る

温室効果ガス排出量を
算定する

3

減らす

算定結果から削減策を
導き出す、実行する

4

開示する

脱炭素に取り組む理由、
ポリシー、数字を開示する

SAGA COLLECTIVEとは

佐賀県の伝統産業10種のメーカー11社からなる協同組合

(諸富家具)
レグナテック



(醤油・味噌)
丸秀醤油



(佐賀海苔)
三福海苔



(うれしの茶)
小野原製茶問屋



(ゆず製品)
川原食品



(日本酒)
天山酒造



(うれしの茶)
徳永製茶



(和紙)
名尾手すき和紙



(有田焼)
李荘窯業所



(神埼そうめん)
井上製麺



(鍋島緞通)
吉島伸一鍋島緞通

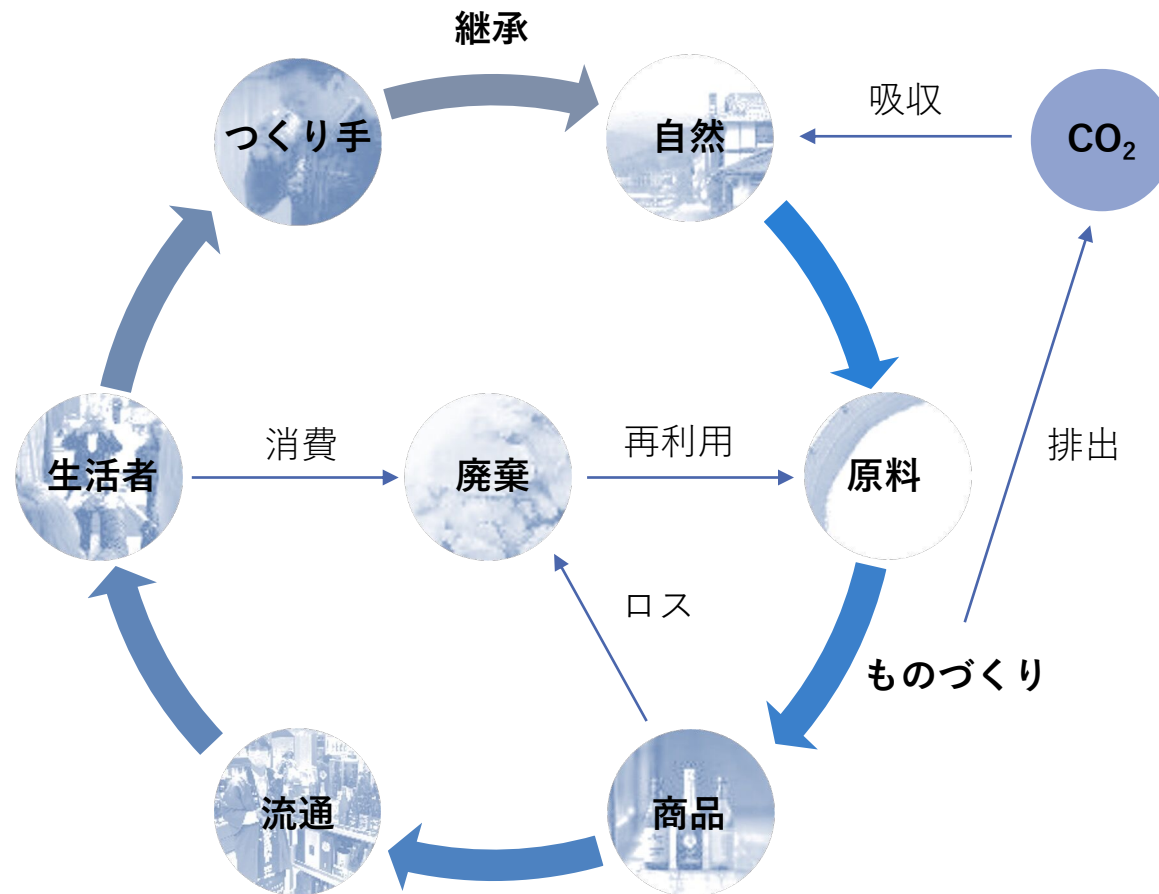


(賛助会員)
旅館あけぼの



循環と継承

地域の力を次につなげる。安心して「継承」できる舞台を整える



エシカル（倫理的な）

各社がこれまで当たり前のようにやってきたことを続ける、強化する

地球にやさしい



名尾手すき和紙が栽培する梶の木

- 環境保護
- ペーパーレス
- 梱包・包装削減
- CO2ゼロ、など

人にやさしい



丸秀醤油の無添加、天然醸造の味噌

- 無添加
- 天然素材
- オーガニック
- バリアフリーデザイン、など

社会にやさしい



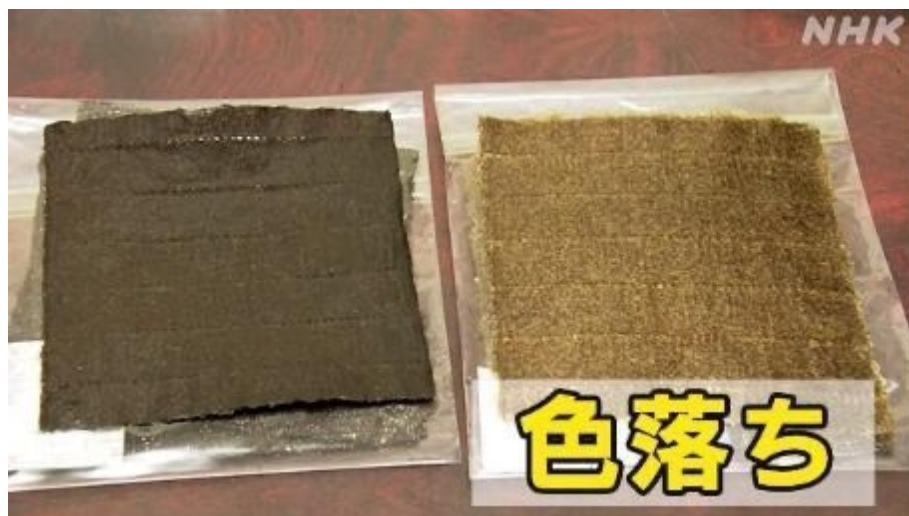
吉島伸一鍋島緞通の一子相伝の技術継承

- 地産地消
- 職人支援
- 男女参画
- 学生交流、など

地球にやさしい

気候変動は「いま」「わたしたち」の問題

海苔の不漁



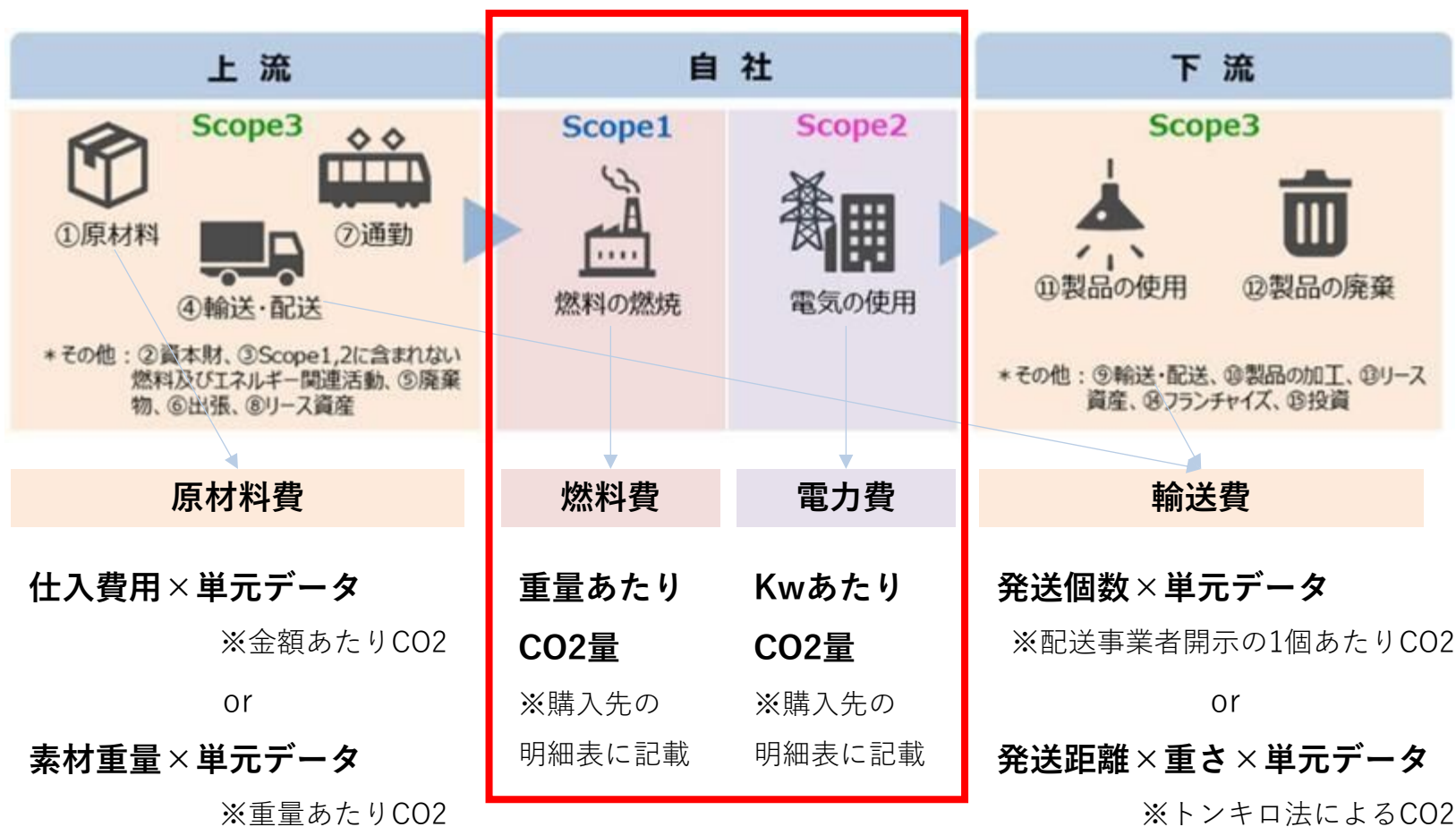
写真：NHK

和紙工場の被災



写真：佐賀新聞

Scope1：直接排出、Scope2：間接排出、Scope3：他社の排出



CO2排出量算出の考え方

Scope3は基本式を
15カテゴリごとに計算し
合計して算定します。

基本ガイドライン：第1部 5.4 参照

活動量

基本式

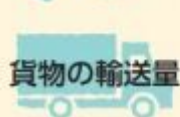
排出原単位

活動量

事業者の活動の規模に関する量。例えば電気の使用量、貨物の輸送量、廃棄物の処理量、各種取引金額などが該当します。社内の各種データや、文献データ、業界平均データ、製品の設計値等から収集します。

活動量の例

電気の使用量



貨物の輸送量



廃棄物の処理量

排出原単位の例

電気

1kWh使用あたりの
CO₂排出量

貨物の輸送量

1トンキロあたりの
CO₂排出量

廃棄物の焼却

1tあたりの
CO₂排出量

排出原単位

活動量あたりのCO₂排出量。例えば、電気1kWh使用あたりのCO₂排出量、貨物の輸送量1トンキロあたりのCO₂排出量、廃棄物の焼却1tあたりのCO₂排出量などが該当します。基本的には既存のデータベースから選択して使用しますが、排出量を直接計測する方法や取引先から排出量の算定結果の提供を受ける方法(*)もあります。

CO2排出量算出シートのイメージ

ガス・電気等の使用量・排出係数に基づきCO2排出量（Scope1,2）を算定。

| 合計 (tCO2) | | Scope1 | tCO2 | 47.10 | Scope2 | tCO2 | 60.00 | | |
|-----------|-------------|-------------------------------------|-----------|----------|-------------|-------------|-----------|----|-----------|
| 107.10 | | ※燃料の使用が対象。ガソリン、灯油、軽油、A重油、LPG、LNGなど。 | | | ※電気の使用が対象。 | | | | |
| 事業者名 | AAA石油 | BBB石油 | CCCエナジー | 電気事業者名 | DDD電力 | (参考値) 事業者全体 | | | |
| 燃料区分 | 液化石油ガス(LPG) | A重油 | ガソリン | メニュー | (参考値) 事業者全体 | | | | |
| 排出係数 | 3.00 | 2.71 | 2.24 | 調整後排出係数 | 0.000500 | | | | |
| 排出係数単位 | tCO2/t | tCO2/kL | tCO2/kl | 排出係数単位 | tCO2/kWh | | | | |
| 種類 | LPガス | A重油 | ガソリン | 種類 | 高圧電力 | | | | |
| 単位 | m3 | ℓ | ℓ | 単位 | kW / kWh | | | | |
| 2022 | 4月 | 100.00 | 1,000.00 | 250.00 | 2021 | 4月 | 10,000.00 | | |
| | 5月 | 100.00 | 1,000.00 | 250.00 | | 5月 | 10,000.00 | | |
| | 6月 | 100.00 | 1,000.00 | 250.00 | | 6月 | 10,000.00 | | |
| | 7月 | 100.00 | 1,000.00 | 250.00 | | 7月 | 10,000.00 | | |
| | 8月 | 100.00 | 1,000.00 | 250.00 | | 8月 | 10,000.00 | | |
| | 9月 | 100.00 | 1,000.00 | 250.00 | | 9月 | 10,000.00 | | |
| | 10月 | 100.00 | 1,000.00 | 250.00 | | 10月 | 10,000.00 | | |
| | 11月 | 100.00 | 1,000.00 | 250.00 | | 11月 | 10,000.00 | | |
| | 12月 | 100.00 | 1,000.00 | 250.00 | | 12月 | 10,000.00 | | |
| | 2023 | 1月 | 100.00 | 1,000.00 | | 250.00 | 2022 | 1月 | 10,000.00 |
| | | 2月 | 100.00 | 1,000.00 | | 250.00 | | 2月 | 10,000.00 |
| | | 3月 | 100.00 | 1,000.00 | | 250.00 | | 3月 | 10,000.00 |
| 合計 | | 1,200.00 | 12,000.00 | 3,000.00 | 合計 | 120,000.00 | | | |
| 単位変換 | 2.62 | 12.00 | 3.00 | | | | | | |
| tCO2 | 7.86 | 32.52 | 6.72 | tCO2 | 60.00 | | | | |

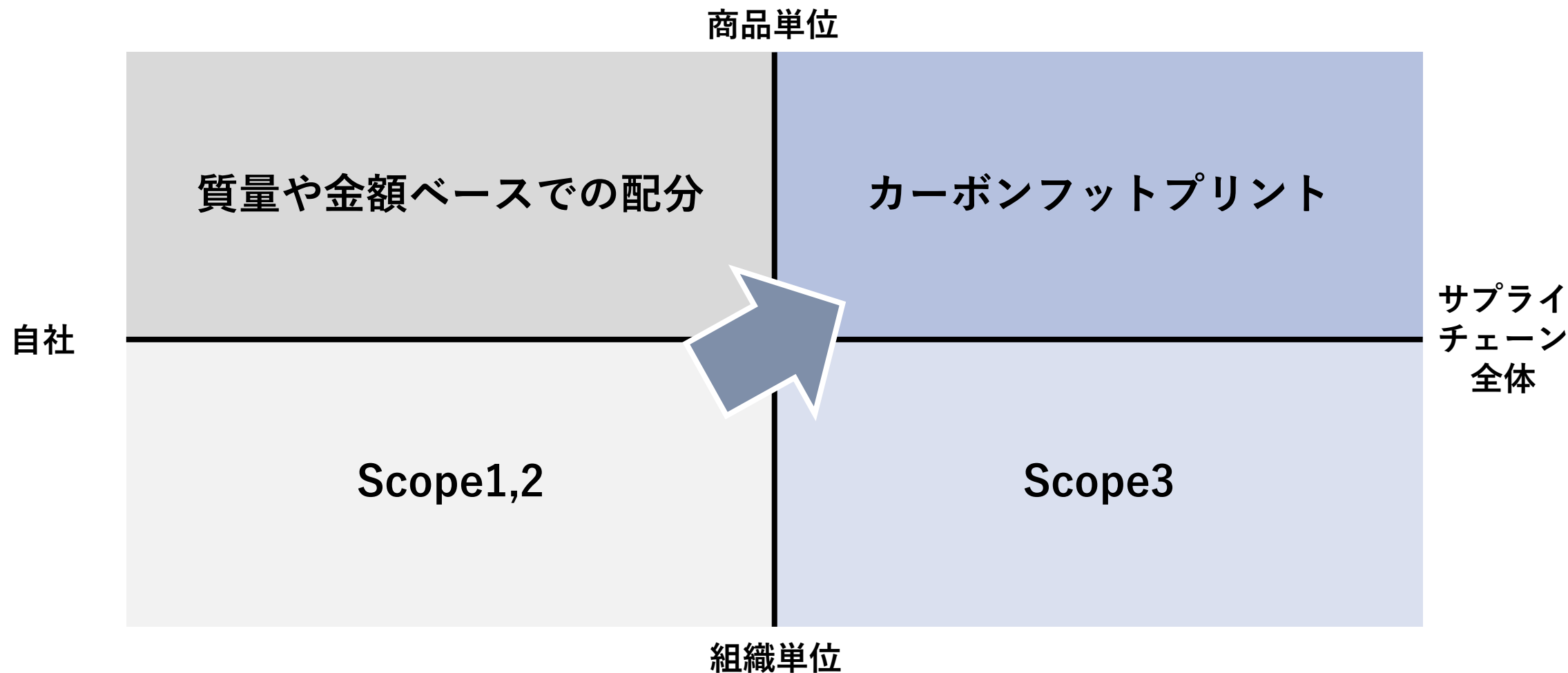
排出
原単位

×

活動量

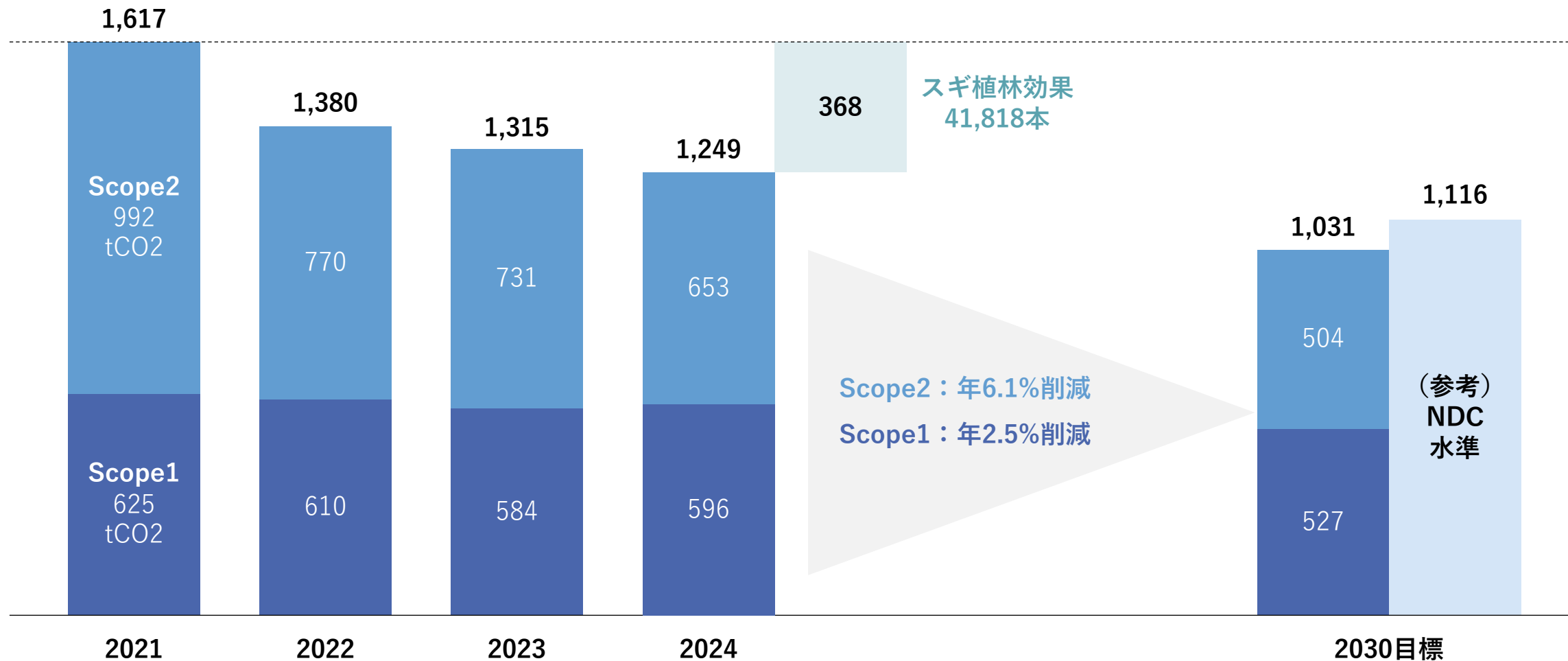
算定対象のイメージ

まずは自社の排出量（Scope1,2）から。必要に応じて算定対象の拡大・細分化を検討



CO2排出量の実績と2030年の目標

活動開始の2021年度を基準。2024年度は累計368tCO₂（22.8%）削減



CO2排出量算出の考え方

活動量

エネルギーを
どれだけ使ったか



排出
原単位

エネルギーを1つ使うと
どれだけ二酸化炭素ができるか

CO2排出量削減の考え方



活動量

使う量を減らす

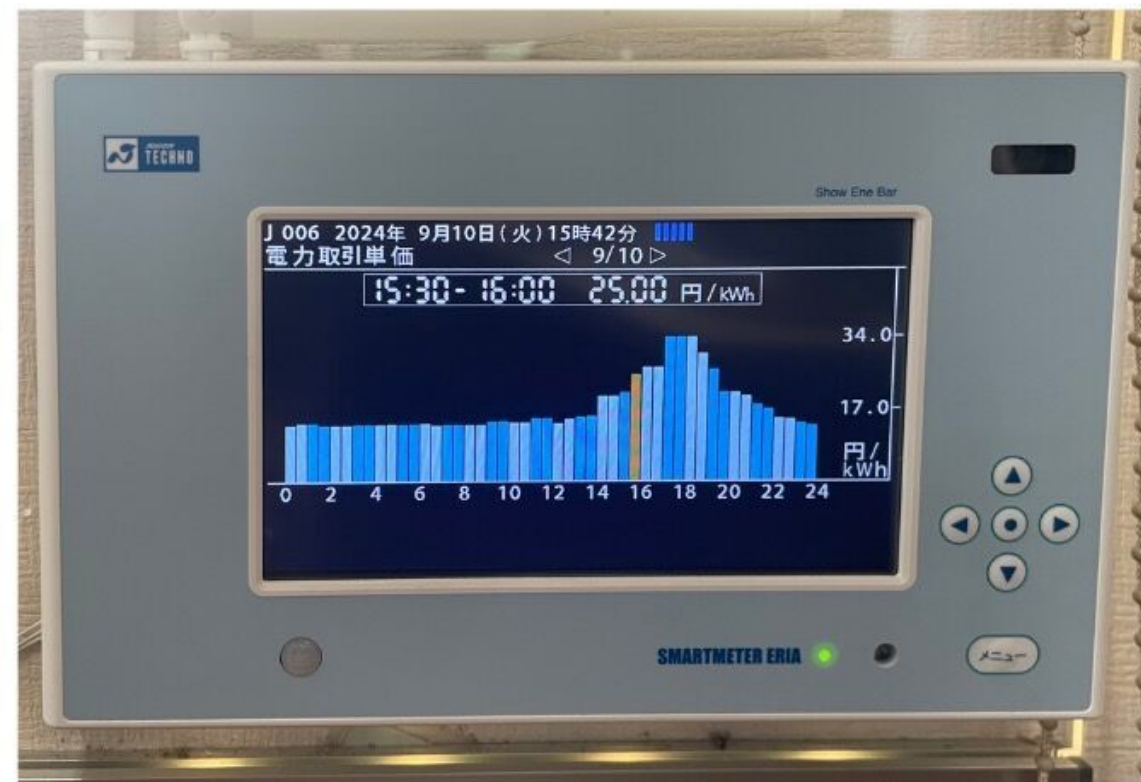
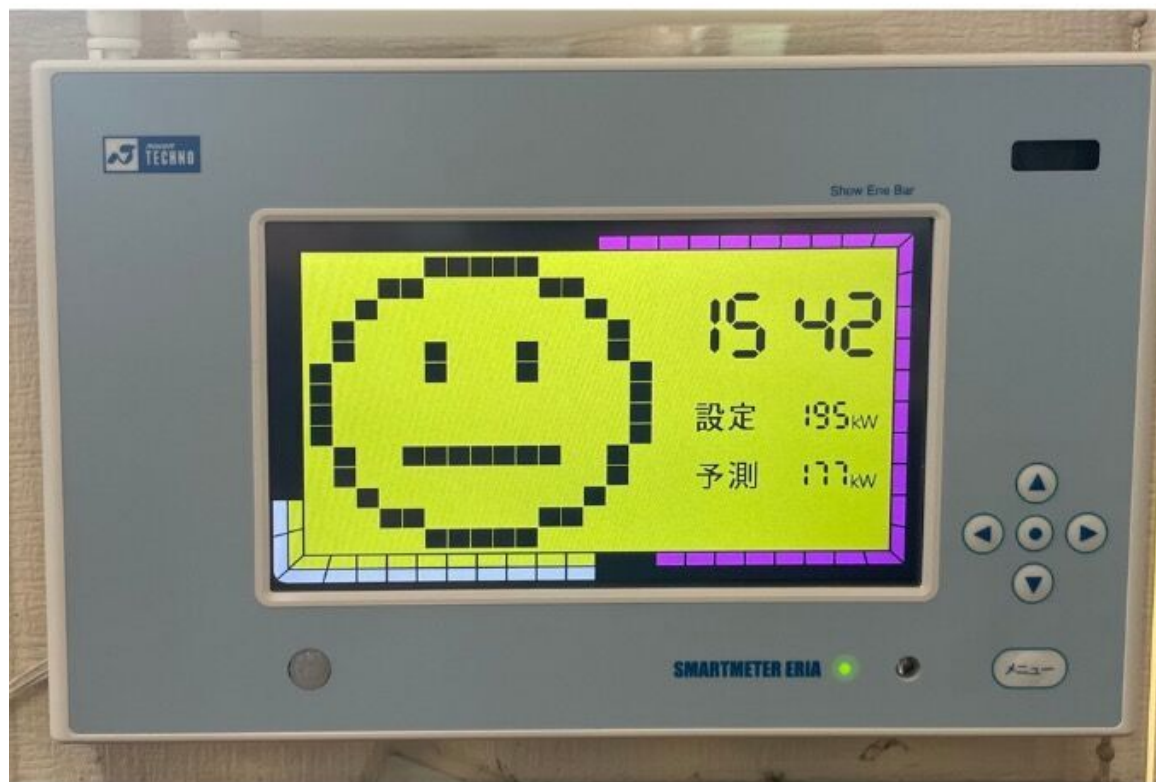


排出
原単位

クリーンエネルギーを使う

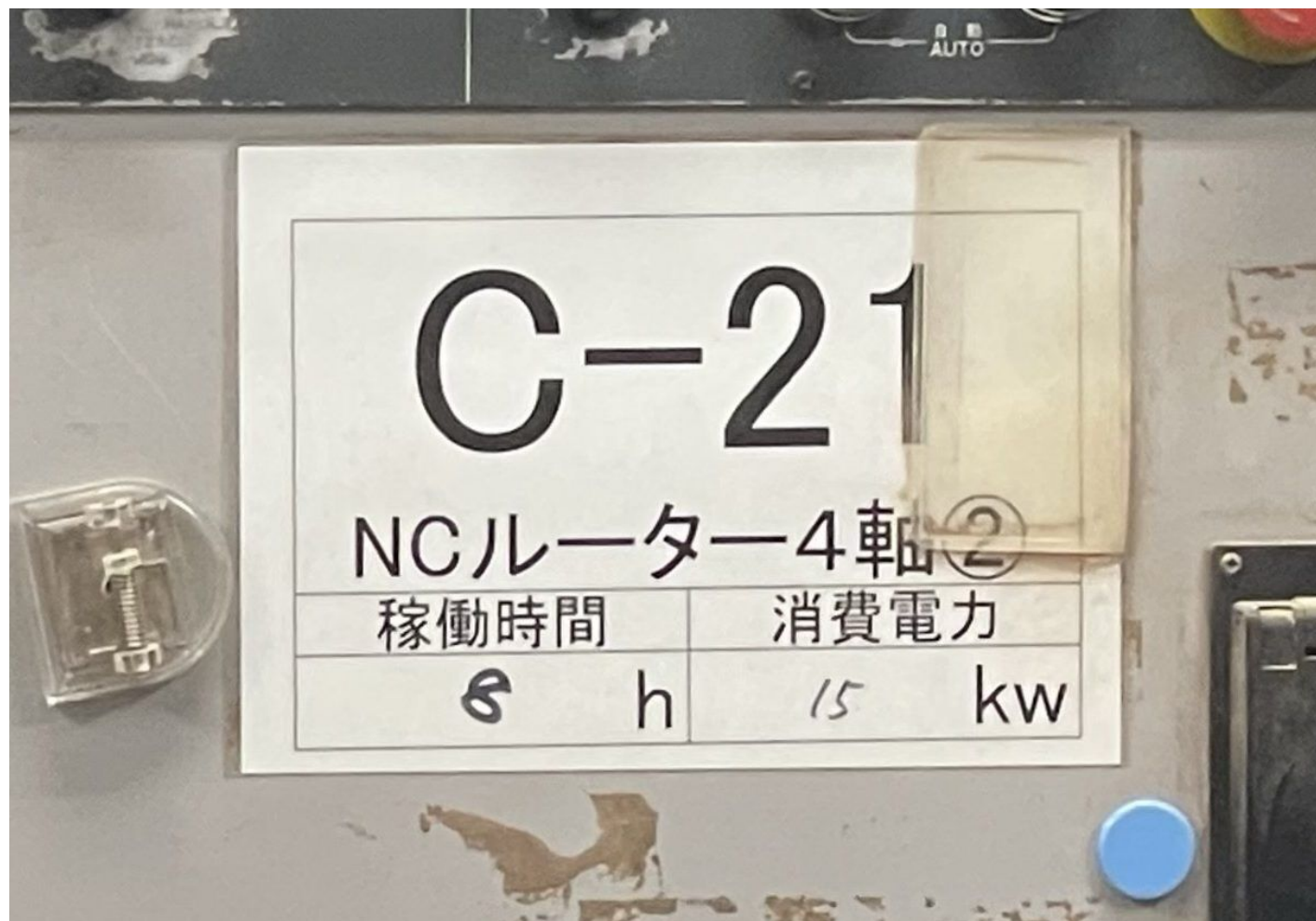
電気使用量の見える化（モニタリング）

毎月の電気使用量を全従業員に共有。前年比10%削減を目標に、節電の徹底



電気使用量の見える化（機械への表示）

加工機械に稼働時間と消費電力を表示。従業員の節電意識を醸成



商品はすべてカーボンニュートラル (Scope1,2)

「環境」の切り口で新たな販路開拓。経済面でも持続可能な取り組みへ



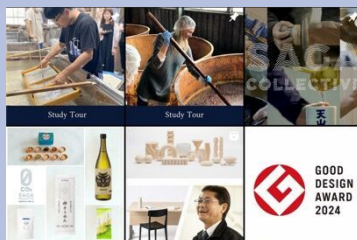
自分たちの言葉で継続的に伝える

日々の活動をウェブサイトのニュース記事に記録、蓄積。顧客との接点を確保する

日々の活動



Instagram (ストーリーズ、投稿)



会報誌 (月末発行)



サステナビリティ レポート



ウェブサイト (ニュース記事)



講演



メールマガジン (月末配信)



地道に記事を蓄積し活動に厚みをもたせる

書いている内容以前に、記事の量と頻度で活動の本気度を見せられる

SAGA
COLLECTIVE

Brand

2025.7.28

SAGA COLLECTIVEの歩み・実績をまとめました【7/28更新】



Sustainability

2025.7.22

地球にやさしい取り組み「サステナビリティレポート 2025」公開 | CO2の削減量は368t・カーボンオフセットの実績は885t超



Brand

2024.8.5

ワークショップ・体験型イベント開催のご依頼を受け付けております



Brand

2025.4.8

SINKa主催「人・資源・位置価値を味わう」視察 | TOUR REPORT #4



Brand

2025.3.18

トヨタ紡織九州栄城会の皆さまが名尾手すき和紙とレグナテックを視察 | TOUR REPORT #3



Brand

2025.3.17

佐賀大学の授業科目「佐賀SDGsグローバルアクション」で特別講義を実施します【一般開放・申込受付中】



Media

2025.7.30

佐賀市CO₂排出量「見える化」ワークショップ開催【9/3(水)・10/8(水)】



Media

2025.7.23

佐賀新聞でサガコレの新連載がスタートしました



Media

2025.7.23

露出・掲載実績 | 7/23更新【新聞・プレスリリース】



Brand

2025.2.28

代官山 蔦屋書店でポップアップ & ワークショップを開催【イベントレポート2025】



Brand

2025.2.25

佐賀県で初開催のSAGA DESIGN AWARDに入賞【レグナテック・名尾手すき和紙が優秀賞を受賞】



Sustainability

2025.2.22

渋谷区立猿楽小学校でSDGsとカーボンニュートルの取組みを学ぶ特別授業を実施

個別具体的な取り組み事例が親近感をうむ

人の気配がする記事、なぜ取り組むのか、苦悩や葛藤、その心を伝えることが重要



Sustainability

2024.8.26

徳永製茶の脱炭素の取り組み事例 | 無理なくできることをコツコツと。

SAGA COLLECTIVEは2021年度から脱炭素の取り組みを始め、11社がそれぞれCO2排出量の削減活動を行っています。毎年、活動実績をまとめた「サステナビリティレポート」を公表しています。

2023年度の実績で、日本茶の製造販売を営む徳永製茶が、初年度（2021年度）のCO2排出量の約30tから約46%を削減し、2030年度NDC水準（※1）を7年前倒しで達成しました。

この記事では、地域の中小企業ができることを積み重ねて脱炭素化を進めた事例として、徳永製茶の取り組みをお伝えします。

丸秀醤油が脱炭素に取り組む理由



丸秀醤油の代表 秀島健介さん

「地球温暖化なんて今までは他人事だったけど、いよいよいろんな課題が目前まで迫ってきて、このままでは本当に、この先、醤油作りを続けられなくなるかもしれないと危機感を感じています」

秀島さんは、そう語ります。

かつては遠い世界の問題に思えた地球温暖化が、今、目の前の醤油づくりに直結する大きな課題になっています。

サステナビリティレポートでは客観性も意識

数字で実績を示す。不特定多数の読み手を意識したファクト中心の構成。エモさの匙加減

目次

| | |
|-------------------------------|----|
| シンプルな報告を心がけます..... | 3 |
| ここまで進みました..... | 4 |
| カーボン・オフセットを免罪符にしない..... | 7 |
| 大切なことはくりかえし学ぶ、教え合う、現場に行く..... | 8 |
| 実践して共有する..... | 9 |
| 「地球にやさしい」を広げる..... | 12 |
| なぜカーボン・ニュートラルに取り組むのか？..... | 15 |
| 自分たちだけでいいのか、脱炭素だけでいいのか..... | 19 |

3年間でCO2排出量を368t（22.8%）削減、自然吸収系カーボンクレジットの地産地消モデルを確立

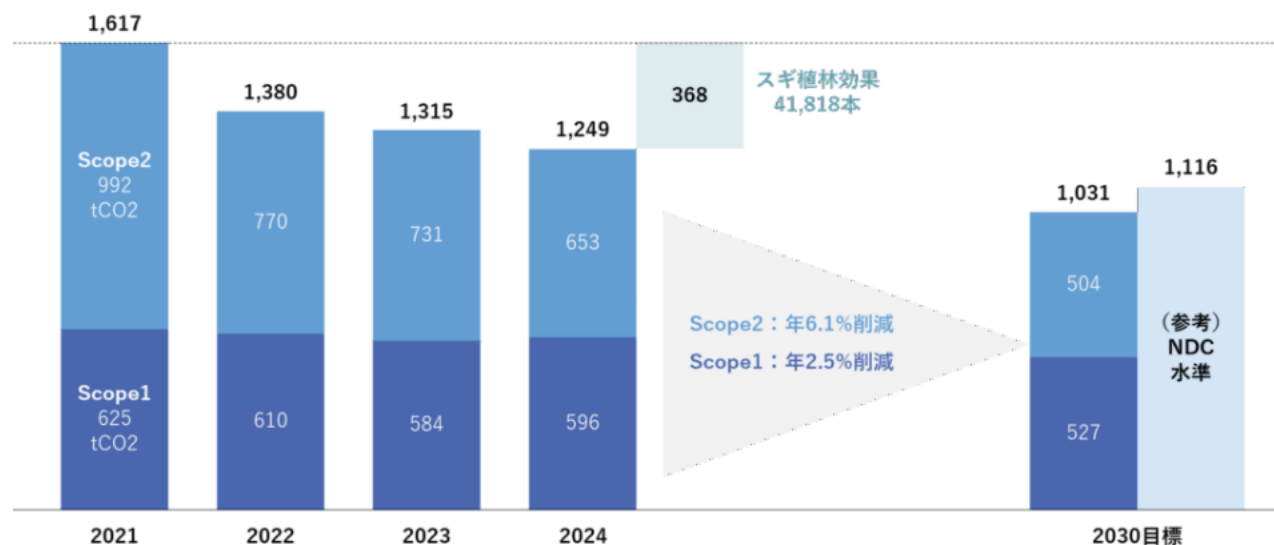
2024年度のSAGA COLLECTIVE全体のCO2排出量（Scope1,2）（※1）は1,249t。地球にやさしい取り組みを開始した2021年度に比べ、368t、22.8%を削減しました。

照明のLED化、電力モニタリングシステムの導入、ボイラー運転の管理、再生可能エネルギーへの切り替えなどを実践し、ノウハウをグループ内で共有しています。

また、生産スケジュールの見直しによる加工機械の稼働時間の集約と短縮といった運用改善を積み重ねています。

さらに、空調、冷凍・冷蔵設備の高効率化や社用車のEV化といった設備投資も行っています。

（※1）自社排出分。Scope1は燃料の燃焼由来（直接排出）、Scope2は電気の使用由来（間接排出）



脱炭素チャレンジカップ2025 環境大臣賞

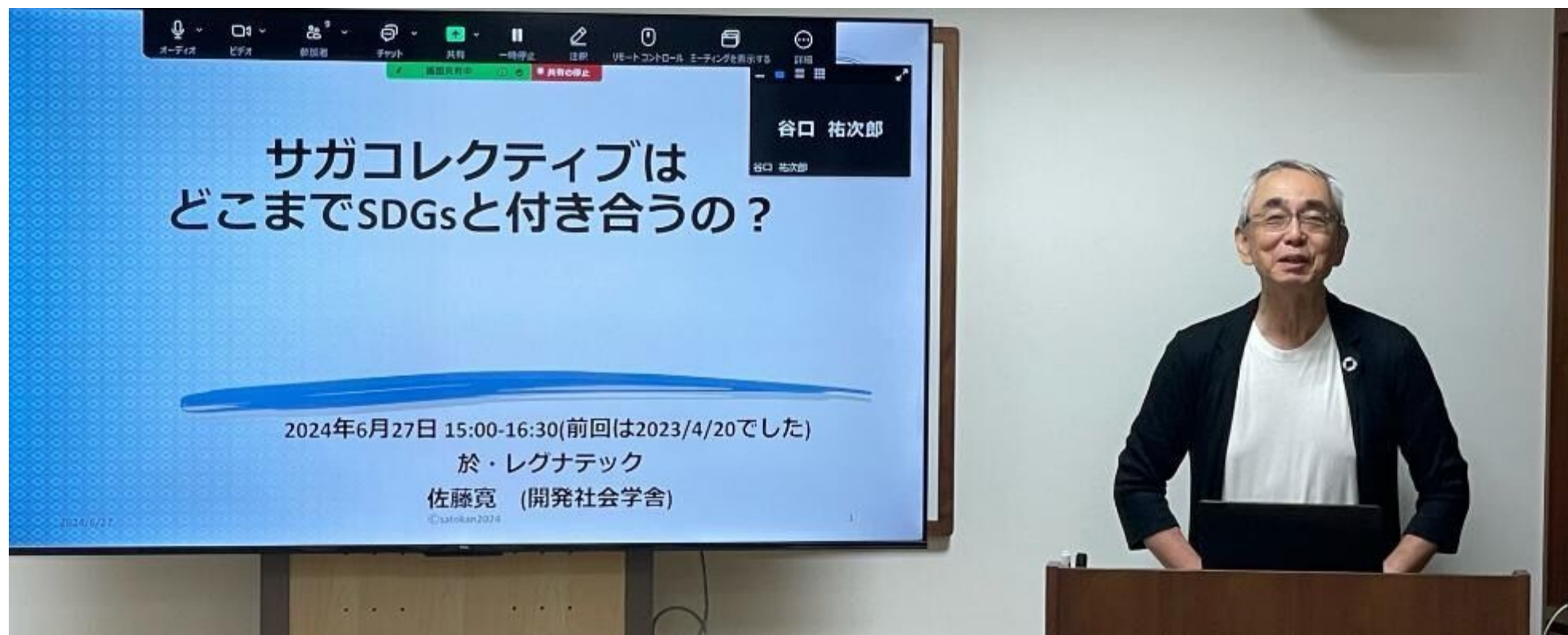


審査員講評

多くの伝統産業が業種を超えて協働している。また、数百年の歴史を持ち、自然環境と密接に関わりながら活動している産業が、気候変動による被害（海苔の色づきへの影響など）について、被害を受けたままで終わらせず、CO2削減に向けた取り組みを進めている。これらの点が高く評価されると共に、地域内での協力の輪をさらに広げていくことへの期待が示され、環境大臣賞（企業・自治体部門 金賞）を受賞。企業・自治体部門は応募件数が近年増加している。その中でも審査員からの点数は非常に高いものであった。

Naming & ShamingとKnowing & Showing

名指しでの批判を恐れず、問題を認識し取り組み方針を示していく



佐藤寛先生（開発社会学舎）を招き、毎年勉強会を実施。第三者の視点を取り込む